

### 第3回 秋川高校跡地及び秋川高校跡地周辺地区のまちづくりに向けた有識者会議

日 時：令和6年1月22日（月） 14:00~16:00

場 所：あきる野市役所 本庁舎5階 505会議室

出席者：饗庭座長、朝日委員、遠藤委員

---

#### <進行：饗庭座長>

##### ■はじめに

（饗庭座長）

- ・事務局と協議した際により議論の内容を深めるため、年度内に第5回会議を開催することとする。

（一同）

⇒了承した。

##### ■前回の振り返り 《説明：事務局》

##### ■現況、課題、方針の流れの整理について 《説明：事務局》

##### 【意見交換】

#### <イノベーションについて>

（遠藤委員）

- ・3つの理念を掲げるのは良いと思うが、イノベーションのイメージが掴めない。イノベーションについて具体的なイメージは何かあるか。

⇒（事務局）

- ・IC周辺や多摩地域での企業立地意向を受け、新たな産業という位置付けのイノベーションと憩いの交流拠点で生まれるイノベーションの2つを想定していた。

⇒（遠藤委員）

- ・具体的な産業がイメージできることは良いと思うが、無理やりイノベーションに結び付ける必要はないのではないか。イノベーションから入るのであれば、現状の研究機関等の企業立地の特性から根拠づけるのはどうか。

（饗庭座長）

- ・イノベーションとは、集まり創造するということなので、現状の資料からはイノベーションの根拠が読み取れない。やることははっきりしているのであれば、そこから生み出されるものまで考えるべき。

（東京都）

- ・イノベーション創出の方向性は良いと思うが、具体的にどのようなイノベーション創出があるのか想定で良いのでストーリーを聞かせていただきたい。東京都が出しているイノベーション創出の事例資料を参考にすると良い。

## <現況、課題、方針について>

(朝日委員)

- ・機能の融合の数が多いことがこのまちづくりの特徴であるため、方向性の中でも憩い・交流が重要な視点になる。特に現段階では面的な整備に向けての話なので、融合のためのマネジメントが重要になるだろう。この点を踏まえると公園・広場は必須で、市民に交流の場を提供できると良い。
- ・福祉と学と要素にもう少しボリュームを出し、市のシンボルのメタセコイア並木は現状コスト面での懸念があるが保全を求める市民意見があるので、どういう位置付けなのか整理した方が良い。

(饗庭座長)

- ・まちづくりの3つの理念がどのように出てきたか分からないため、あきる野らしい言葉を添えた方が良い。3つの理念に対する課題やポテンシャルを整理してまとめると分かりやすい。
- ・A3資料1枚目で言う「地区」が具体的にどこを指すのか曖昧であり、区画整理で巻き込まれる敷地内に居住する人の視点だと自分のまちの課題が書かれていない。敷地内、あきる野市、多摩西部、東京都というように各段階で、課題とそれに対する解決策を整理した方が良い。
- ・KPIの設定整理も今後のことを考え整理した方が良い。

⇒ (遠藤委員)

- ・検討のスケールを分けて、現況・課題を整理してはどうか。

(朝日委員)

- ・このエリアで働く方の特徴は何か。

⇒ (事務局)

- ・地元に住んで働く方や多摩地域から働きに来る方などがいる。

⇒ (朝日委員)

- ・企業誘致の際に条件を設ける制度などはあるのか。

⇒ (事務局)

- ・そういった制度はない。

⇒ (事務局)

- ・市内の労働者は、自動車製造工場、電子工場、公務員（警察・消防）が多い。

(遠藤委員)

## <景観について>

- ・現状の捉え方の中であきる野らしさが大事だが、景観という捉え方も領域として作ってはどうか。農の風景をどうするかという議論がいずれ出てくると思うので、この点も景観の中で考えられると良い。景観的な特徴を挙げていけば今後の検討につながるのではないかと。

⇒ (事務局)

- ・景観については、メタセコイアの景観や大岳山の眺望を意識しながら模索していきたい。

⇒ (饗庭座長)

- ・景観を近景、中景、遠景に分け、やりたいこととセットで検討すると良い。

## ■土地利用構想図（ゾーニング案）について 《説明：事務局》

### 【意見交換】

（遠藤委員）

- ・日の出との境に緑道があることを評価して緑がしっかりつくられていることを前提とし、ゾーニング図に緑道を表示させた方が良い。
- ・パターン②の産業ゾーン（約 2.9ha）と生活複合ゾーン（約 2.6ha）を入れ替えた中間案も検討してはどうか。
- ・メタセコイア並木は公園として使いにくいので、公園としてまとまった場所を確保した方が良い。
- ・マルシェを想定するなら、イオンとの関係性は重要になる。

（朝日委員）

- ・産業だけでなく商業的機能も含め、歩くポテンシャルがどのように循環し、産業・住宅のボリュームをどのように見込むか考えた方が良い。
- ・誰が歩くのか、ターゲットを考えた方が良い。
- ・職住近接は売りになると考える。

（饗庭座長）

- ・まちづくりの3つの理念とどうつなげるか考えた方が良い。

### ■その他【連絡事項等】

- ・第4回有識者会議は2月26日（月）15時より開催する。

（以上）

